

広がる綾部への移住

昨年度、市の定住サポート総合窓口（以下、窓口）を通じて36世帯79人が移住。前年度より9世帯28人多く、移住者数は平成20年度の窓口開設以降2番目の規模となりました。



昨年は、窓口にて2,115件の相談が寄せられました

HPで多様な「コンテンツ」展開
市は、移住・定住をワンストップで支援するため、平成20年度に窓口を開設。空き家バンクの登録物件の紹介・案内だけでなく、就業・就職相談や地域住民との顔合わせへの同行など、きめ細かなサポートを行っています。
情報発信では、「移住立国あやべ」のホームページの充実に注力。空き家情報のほか、ボランティア組織「こらへんのことつたえ隊」と連携し、移住者のインタビュー記事や市内12地区の紹介動画などを、さまざまなコンテンツを展開しています。令和6年に始めたSNSでの広告配信により、ホームページへのアクセス数は増加中。今後も、移住者の視点に立った情報発信に努めます。

事業者と連携し相談会実施

現在、本市への移住希望者は約400組。一方で、市の空き家バンクへの登録は約1000件で、希望者に紹介できる物件が少ないのが課題です。市は毎月、空き家相談会を開催。空き家が老朽化する前に、宅地建物取引業者などに相談できる機会を提供しています。また、空き家提供者への報償金制度「右囲み」などを設け、流動化を促進。今後も、空き家を移住者受け入れの資源と考え、掘り起こしを進めます。空き家バンクに関する問い合わせは、定住・地域政策課 ☎424270へ。

空き家流動化促進事業

綾部市空き家バンクに物件を登録し、売買か賃貸の契約を締結した場合、家財の撤去等に係る費用として、空き家提供者に10万円を支給します。

綾部に移住しました！



農泊が移住のきっかけに

柳 拓磨さん
香菜子さん一家
(睦奇町)

子どもの誕生やコロナ禍をきっかけに移住先を探す中で、塩見直紀さんの著書で綾部を知りました。移住前には家族で訪れ、工忠さんの農家民宿に宿泊。上林を案内してもらい、移住後の暮らしのイメージが膨らみました。そのとき感じた豊かな緑、人の温かさに加え、妻の後押しもあり移住を決意。その後、空き家バンクを通じて希望に沿った古民家とも出会い、今年1月に神奈川県から移住しました。子どもたちは、カニやドジョウなどの生き物に夢中で、目を輝かせて、自然の中をのびのびと遊んでいます。夢田の人にはいつも気に掛けていただき、安心して暮らしています。

地域を案内しました

あらゆる情報を生の声で



こらへんのことつたえ隊
工忠 照幸さん
(五泉町)

つたえ隊は、U・ターン者を中心に構成し、移住希望者に地域の気候や行事、自治会のルールなどを説明したり、地域住民につないだりする役割を担っています。柳さんには、学校や仕事に関する情報はもちろん、生活の良い面だけでなく、冬の積雪といった大変さも含めて話しました。綾部は、移住について気軽に相談できる人が多いのが強み。こうした環境が、移住者の安心感につながっているように思います。今後も、移住を考える人の後押しができればうれしいです。

空き家を提供しました

放置せず次の担い手へ



上田 昭二さん
(上林出身、
城陽市在住)

実家を空き家バンクに登録。将来的に管理する人がいないため放置せず、古里のためにも住みたい人に活用してもらえればと考えました。柳さんご家族に有効に使っていただき、うれしく思っています。



状況に応じ適切な提案を 綾部商工会議所不動産部会 羽賀 大哲さん



市の協力事業者として、空き家バンクに登録された物件の仲介を担っています。また、市の空き家相談会にも対応。「売るにはどうすればいいのか」「今後空き家になる可能性があるのか、今のうちにどうするか考えたい」など、さまざまな悩みに対して、司法書士と連携して助言しています。一口に空き家といっても、物件の状況や所有者が抱える事情はさまざま。しっかり話を聞き、それぞれの状況に応じて適切な方向性を示すことを心掛けています。こうした取り組みが、空き家の掘り起こしにつながればと思います。



子育て支援ガイド

赤ちゃんの健康を守る予防接種▽産後の心と体を整えるケア▽日々に役立つ情報サービス▽通園支援一。子育てのさまざまな場面で利用できる市の取り組みを紹介します。

<問い合わせ> こども支援課 ☎(42)0020、子育て支援課 ☎(42)7624

子育て支援アプリ「あやっこナビ」



アプリダウンロードはこちら↑

妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポートするアプリです。親子(母子)健康手帳の情報が管理できるほか、子育て世帯のニーズに対応した情報をプッシュ通知でお届けします。

☺ こども支援課



子育て応援マガジン「あや・ほっと」



電子ブックはこちら→

妊娠期から子どもが小学校に入学するまでの間の子育て支援施策や事業、市内のお出掛けスポットなどを掲載しています。スマートフォンやタブレットなどからも見ることができる電子ブックもあります。ぜひご活用ください。

☺ こども支援課



産後ママのリフレッシュケア

詳細はこちら→



利用者の声

明日からまた子育てを頑張ろうと思えた

ゆっくりお風呂に入れて、ゆっくりご飯を食べられて幸せだった

久しぶりにゆっくりできた

また参加したい

あやべ温泉で実施している「産後ママのリフレッシュケア」。産後1年未満の母子が利用可能で、温泉に入浴したり、個室でゆったり休んだりできます。産後の心身の回復にぜひご利用ください。



☺ こども支援課

こども誰でも通園制度



在宅育児の0歳6カ月～3歳未満の子どもを対象に、保護者の就労条件に関係なく月10時間まで保育所等を利用できる制度。全ての子どもの成長環境を整え、家庭の多様な子育てを支援します。

☺ 子育て支援課

お子さんをRSウイルス感染症から守る妊婦の母子免疫ワクチン接種

RSウイルスは、乳幼児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、ほとんどの子どもが2歳までに一度は感染します。主な症状は発熱や鼻水、咳など。多くは軽症ですが、一部は重症化することがあります。妊婦が母子免疫ワクチンを接種することで、母体で作られた抗体が胎児に移行し、生まれた赤ちゃんをRSウイルスから守る効果が期待されます。☺ こども支援課

接種対象者 接種時点で妊娠28週から36週6日までの妊婦

接種回数 妊娠ごとに1回(筋肉内に注射)

予約について 令和8年4月1日以降に妊娠の届け出をする人は、届け出時に予約票を発行します。3月31日以前に届け出をした人には、個別に通知します。

医療機関 下記の市内医療機関で接種できます。事前に医療機関に予約をしてください。

- ・綾部市立病院(青野町)
- ・由良産婦人科・小児科医院(本町一丁目)

「プロジェクトチームX」制度スタート 研究チーム募集!

一人一人の「やる気」を生かした魅力あるまちづくりが大切になっています。既存の枠組みにとらわれず、市民の皆さんの自由なアイデアを持ち寄り、まちづくりを検討・研究してみませんか。市は、「もっとこうなれば楽しくなる」という直感や、新しい視点を提案するチームを募集しています。

「プロジェクトチームX」制度の概要

01 チーム

綾部市の活性化を目的に研究を行う、3人以上の市民(在勤・在学含む)が組織するチームで、市長が適当と認めたもの

チームXをつくらう!



02 エントリー

研究テーマをエントリーシートに記入し企画政策課へ提出(随時受付)

エントリーしてね!



03 サポート

公認されたチームには、必要に応じて補助金を交付(補助率10/10、上限10万円)

Information

キックオフ説明会のお知らせ

プロジェクトチームXの内容や進め方を分かりやすく紹介します。さらに、実践的なヒントを聞ける講演会も開催!

日時 5月29日(金)18:30~
会場 市役所まちづくりセンター
参加費 無料

内容・制度説明
・講演
福野博昭さん
(奈良テレビ放送代表取締役)



申し込み 5月27日(水)までに、電話かメール、インターネット=左QRコード=で企画政策課へ

<問い合わせ> 企画政策課 ☎(42)4215 メール kikakuseisaku@city.ayabe.lg.jp

講演会も開催!





私たちが心のふるさと、あやべ水源の里。その活動を順に紹介しながら、集落の「元気のヒツツ」、や日々を楽ししく暮らすコツを探ります。

有安

年間通じて交流の機会創出

国宝・光明寺二王門（睦寄町）の麓に位置する▽有安▽古井▽市場▽庄一の4つの集落から成る水源の里・有安。地域のつながりを



6月に開催される二王公園まつりで手羽先のから揚げを販売。今年（6月7日）も出店し、まつりを盛り上げる



12月に開く餅つき。子どもからお年寄りまで幅広い世代が参加している

強め、活気あるまちづくりを目指して、平成24年に活動を開始しました。

現在は、二王公園まつりでの手羽先の販売をはじめ▽納涼祭▽秋のグラウンドゴルフ大会▽餅つきーの交流事業を展開。昨年からは春と夏の年2回、君尾山への参道整備にも取り組み、年間を通じて地元住民や集落出身者が顔を合やす機会を設けています。

「近年は、移住者が増えている。行事への参加も積極的」と藤元恒夫代表。これからも、イベントなどで世代や立場を超えた交流の輪を広げていけたら。みんなが支え合ってコミュニティを維持していきたい」と語ります。

シリーズ 人権を考える 個人情報を守る

本人通知制度で不正取得防止へ

情報化社会が進む現代では、私たちの個人情報知らぬうちに流通しており、住所や出身地などから個人のルーツを探る「身元調査」が後を絶ちません。戸籍等の個人情報、本人の知らないところで不正に取得される事案も全国



で発生しています。これらは、人権侵害や犯罪被害にまで発展する深刻な問題です。

本市では、戸籍や住民票が本人以外の第三者に交付された場合に、その事実を本人へ通知する「登録型本人通知制度」を実施しています。事前に登録しておくこと、身に覚えのない交付があったとき、不正取得の被害にいち早く気付くことが可能。また、この制度に多くの人が登録すれば、不正請求への抑止効果も期待できます。

登録するという行動は、「差別を許さない」という意思表示の一つ。個人情報不正に取得され、悪用されるのを防ぐには、一人一人の取り組みが欠かせません。人権問題を「他人事」ではなく「自分事」として捉えるために、あなたも一歩を踏み出してみませんか。

登録型本人通知制度の申し込みに必要な書類

- 申込書
- 顔写真付きの本人確認書類（マイナンバーカード、運転免許証など）

申し込み・問い合わせ

市民・国保課 ☎(42)4245

※第三者からの請求を拒否したり、交付の可否を登録者に確認したりする制度ではありません。

源ちゃんコラム

由良川



プロジェクトチームX始動!

「プロジェクトチームX（PTX）の公募を始めます！」

綾部市のまちづくりは市役所だけでなく、市民も一緒に！と、綾部市民3人以上（在学、在勤者含む）で綾部市の活性化を目的とするチームを組織していただき、綾部市がそれを公認して研究・提案をしてもらう制度です。「広報するのには名前が長いので…」と内部からの指摘もあり、縮めて「PTX」と呼ぶことにしました。

チームの申請は年間を通していつでも可能。「思い立ったらPTX」で、研究に要した会議費、視察費、調査費等を上限10万円で全額補助します。良い提案があれば綾部市が実施しますし、チームも実行されるのを市が支援することもできます。

チームは綾部市長、副市長、教育長と監査委員を除いて誰でもつ

くれます。市職員には勤務時間内に仕事としてチーム活動に関わることも許可します。研究内容は自分が所属する部署以外のことでも構いません。

詳しくは、5月29日（金）の18時半から、綾部市役所まちづくりセンターで開催するPTXの「キックオフ説明会」で説明します。この日は元奈良県知事公室次長で、奈良テレビ放送の福野博昭社長をお招きし、「まちづくり」をテーマにしたミニ講演も併せて行います。

福野社長をご紹介いただいたのは修験道の本山である吉野山金峯山寺の元宗務総長、田中利典さん（湖垣町在住）で、「公務員らしくない破天荒な人間ですが、めっちゃ役に立つオモイ男」とのこと。福野社長の著書「ライク・ア・ローリング公務員」（木楽舎）を読みましたが、高校を出て入った奈良県庁で最初に配属された奈良公園で常識にとわれない様々な改革を進められた他、どの部署に移っても良いと思ったことに突き進んでいかれたようです。

PTXは綾部市にとって最初の重要な「チャレンジ」です。冷やかしても結構ですので、まずは5月29日（金）夜の「キックオフ説明会」にお越しください。

四方源太郎（綾部市長

手話でつながろう

今月の手話

健康



右手で体を丸くする



胸の前で両手を握り同時に2回下ろす

動画で動きを確認できます。ぜひご覧ください。



協力：京都府聴覚障害者協会綾部支部

図書館ほんでほんで通信mini

6/6 (土)

令和8年度 第1弾! わんちゃんへの読み聞かせの会

～犬との触れ合いの会に参加しませんか～

子どもが犬に読み聞かせをするプログラムです。穏やかな犬とゆったり本の世界を楽しむことで、思いやりの心が芽生えたり、読書への楽しさに気が付いたりするきっかけになります。

日時	1回目 午前10時～10時50分 2回目 午前11時10分～正午	各回 定員5人
内容	犬との触れ合いタイム&読み聞かせタイム	
場所	図書館1階ものづくりコーナー	
対象	小学1～6年生	
持ち物	絵本、手指消毒スプレー	
申し込み	5月31日(日)まで窓口カウンターで受け付けます（申込多数の場合、市民優先で抽選）。事前に読み聞かせの本を選びに来てください。	

<問い合わせ> 図書館☎(42)6980 ☎(42)4570

協力：アンビシャス